

# 統合国際深海掘削計画 (IODP) 会議報告書

提出年月日： 平成 18 年 8 月 11 日

(ふりがな) みうら せいいち

氏名： 三浦 誠一

所属 (職名)： 海洋研究開発機構 地球内部変動研究センター (研究員)

会議名	第 6 回 SSP 会議
会議期間	平成 18 年 7 月 24 日～26 日
用務地 (国・都市)	北海道大学 (日本・札幌)
目的	札幌で開催された第 6 回 SSP 会議に SSP パネルメンバーとして出席し、IODP 掘削に必要なサイトサーベイデータの評価およびアドバイスを行うこと
会議内容及び報告事項	<p>日本からの SSP パネルメンバーは以下の 7 名である。 金松敏也 (海洋研究開発機構)、白井正明 (東京大学)、高野修 (石油資源開発株式会社)、田中明子 (産業技術総合研究所)、朴進午 (東京大学)、三浦誠一 (海洋研究開発機構)、矢口良一 (三井石油開発株式会社)</p> <p>会議は 3 日間開催され、初日午前と午後最初に各パネル等からの報告があり、午後の残り 2 日目の午前で Review の準備を実施した。2 日目の 11 時から 3 日目午前中まで Review を実施した。次回 SSP は 2007 年 2 月 20 日から 22 日まで Scripps の予定。今回 Chair の Searle 氏が Vice-chair の Sawyer 氏に次回 Chair を引き継ぎ、次回からの Vice-chair が矢口氏となった。会議の詳細については以下を参照のこと。</p> <p>7 月 24 日 (月)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>参加者の自己紹介のあと、IODP-MI の Larsen 氏が挨拶、江口氏が会場等の説明</li><li>前回の議事録を承認</li><li>SSP の役割等についての説明：Searle 氏</li><li>Conflict of Interest Policy (COI) の説明と確認：Searle 氏</li><li>IODP-MI 報告：Zelt 氏<ul style="list-style-type: none"><li>プロポーザルのサブミット内訳と状況報告</li><li>アクティブプロポーザルの状況</li></ul></li><li>SPC 報告：Mori 氏<ul style="list-style-type: none"><li>プロポーザルランキングについて</li><li>Mission Concept について</li><li>SPPOC から SASEC へ</li></ul></li><li>SSEP 報告：Sawyer 氏<ul style="list-style-type: none"><li>SSEP での Review について、3つのグループに分かれて行っている</li><li>Mission になる可能性のあるもの：<ul style="list-style-type: none"><li>Seismogenic Zone, Grobal climate change and carbon cycling</li></ul></li><li>SPC へプロポーザルを送る際の”5-star system”について</li></ul></li><li>EPSP 報告：松岡氏</li></ul>

- CDEX 報告:Moore 氏  
CDEX 再編  
南海掘削  
「ちきゅう」について
  - USIO 報告:Zarikan 氏  
Exp312
  - Scientific Ocean Drilling Vessel ESO 報告:Searle 氏  
Exp310  
MSP の 2007 年以降の計画
  - Review 準備
- 7 月 25 日(火)
- Review 準備
  - Review:
    - Proposals with Operations Task Force:4 件
    - Proposals between SPC and OTF:3 件
    - Proposals in the SPC ranking pool:6 件
    - Proposals reviewed by SSEP with newly submitted site survey data:3 件
- 7 月 26 日(水)
- Review
    - New Full proposals 1 April 2006:3 件
    - New Preliminary Proposal Submissions, 1 April 2006, without data:10 件
  - 次の SSP 会議は Scripps にて、Feb.20-22, 2007
  - SSEP へのリエゾン、日本から一人(矢口氏)、ECORD から一人を調整
  - SPC へのリエゾン、Searle 氏?
  - EPSP へのリエゾン、Doyle 氏
  - 今回で最後の SSP 委員:Carbotto 氏、Harding 氏、Neben 氏、Twitchell 氏、高野氏
  - MATRIX ウェブサイトのデモ(コメントを二週間程度以内に送ってほしい)
  - Google Earth による Site info 表示デモ
  - Site Summary Form6 について
  - 次回からの Chair は Sawyer 氏、Vice-chair は矢口氏

以上

事務局又はJ-DESCへのご要望・コメント等

本報告書の提出に関して、事前に連絡いただけなかったことが非常に残念です。